

令和 7 年度

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日	R7.6.23
課名	子育て支援課
グループ名	子育て支援グループ
記入者名	

1 事業概要		(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	一般事業	
(1)事業名	地域子育て支援事業費(みんなの食堂を含む)	(4)第5次総合振興計画での位置づけ				
①基本目標	健康で安心して住めるまちく保健・医療・福祉の充実			①会計区分	一般会計	
②大項目	子ども・子育て支援			②財源区分	国補助	
③中項目	児童福祉の充実			③予算科目	款 3 項 2 目 3	
④施策	子育て支援活動の推進			④予算事業名	地域子育て支援事業費(みんなの食堂を含む)	
⑤施策コード	5.3.2.7	掲載ページ	85	ページ		
(6)実施根拠		(7)総合戦略				
①事務分類(自治・法定受託)	自治事務			①総合戦略	みんなの食堂事業	
②根拠法令・条例等	小川町子育て支援センター事業実施要綱			(該当事業名)		
③事業期間	開始	不明	年	月から	終了 未定 年 月まで	
2 事業の目的・内容等		(2)内容(どのような取り組みか)				
(1)目的(何のために行うか)		家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感を解消し、子どもの健やかな育ちを促進することを目的とする。				
		子育て支援センター及びつどいの広場(場所:児童館)において、子育て親子の交流の場の提供と交流の促進、子育て相談・援助の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育てに関する講習会を実施する。 児童扶養手当受給者等を対象に「ブチフードパントリー」を実施。町内小学校及び中学校の児童・保護者を対象に「学習支援」と「食事の提供」を行う。				
(3)対象(誰に対して、何に対して行うか)		(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)				
未就学児(555人)及び保護者 ※R7.3.31時点 ひとり親家庭(児童扶養手当)(139人) ※R7.3.31時点 小学校在籍児童(823人)と保護者 ※R7.3.31時点 中学校在籍児童(482人)と保護者 ※R7.3.31時点		子育て中の保護者の不安感を緩和することで、子どもの健やかな育ちが促進される。				
対象数	1,999	単位	人			
(5)事業を取り巻く環境(社会環境や町民ニーズ等)						
少子化や核家族化の進展に伴う家庭の子育て機能の低下を背景に、孤立化している子育て中の保護者の不安感や負担感を軽減し、子ども間の多様な関わりを提供する場として、地域の子育て拠点が果たす役割は重要である。						
(6)SDGsへの貢献						
						
3 事業のコスト(実績・決算・予算)		(単位:千円)				
(1)事業(内容)名称		地域子育て支援事業費(みんなの食堂を含む)				
項目	決算・予算年度	R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)当初予算
(2)事業費	報酬	0	0	0	0	0
	報償費	0	0	0	0	0
	需用費	0	0	0	0	0
	役務費	104	97	97	97	123
	委託料	11,241	11,241	11,241	12,789	12,789
	その他	225	57	655	884	10
	直接事業費合計	11,570	11,395	11,993	13,770	12,922
(3)財源内訳	国庫支出金	3,682	3,804	3,791	4,307	4,307
	県支出金	3,682	3,796	3,789	4,300	4,307
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	4,206	3,795	4,413	5,163	4,308
	合計	11,570	11,395	11,993	13,770	12,922
	(4)補助金名	地域子育て支援拠点事業費補助金				
(5)人件費						
投入職員数	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
年間人件費	763	754	752	777	803	
(6)総事業費	12,333	12,149	12,745	14,547	13,725	
サービス量(延べ人数)	2,715	4,467	7,140	6,543	11,500	
サービス単価	4.5	2.7	1.8	2.2	1.2	
(単位)	千円/事業利用者1人あたり					

4 指標の検証		地域子育て支援事業費(みんなの食堂を含む)			
指標名		単位	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)予算積算
(1)活動指標(実施した事業の量)					
指標名	目標値				
	実績値				X
	達成率				X
	目標値				
	実績値				X
	達成率				X
(2)成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度)					
指標名	子育て支援センターの利用者数 (総振目標指標p86) 令和7年度目標値 11,500人	目標値 人	11,500	11,500	11,500
	実績値 人	5,528	5,162		X
	達成率 %	48.1	44.9		X
	つどいの広場 年間利用者数	目標値 人	3,000	3,000	3,000
	実績値 人	1,612	1,381		X
	達成率 %	53.7	46.0		X
(3)その他指標に現れない成果					
・子ども家庭センターによる要支援児童の安全確認、見守りの実施。 ・子育て支援センターのオレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン協力(オレンジライトアップ) ・つどいの広場のオンラインによる相談機能の追加 ・子育て支援センターとつどいの広場では質の高い講座を用意し、子育て支援を充実させている。					
5 事業評価					
(1)項目別評価					
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。
必要性	事業の必要性	1 1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	1 1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他()		
妥当性	実施主体の妥当性	1 1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1 1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である 3 その他()		
	手段の妥当性	1 1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1 1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他()		
効率性	コスト効率性 人員の効率性	1 1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	2 1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他()		
公平性	受益者の偏り	1 1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	1 1 公平に分配されている 2 おおむね公平に分配されている 3 その他()		
有効性	成果の向上	1 1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	3 1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他(子育て支援センターとつどいの広場では質の高い講座を用意し、子育て支援を充実させている)		
進捗度	事業の進捗	1 1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	1 1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他()		
(2)総合評価(上記結果を踏まえて、今後の課題と対応を記載してください。)					
利用者数が前年度比較では減少しているため、今後利用者数の増加を課題とし、一層の事業の周知を実施する。R6年度目標値に達しない理由は、共働き家庭の増加に伴い低年齢児から保育園に預けられる児童が増えたことや児童数の減少等が考えられる。子育て支援センター、つどいの広場とともに事業内容は充実しており、子育て応援ナビや町HP、ココットへの掲示を増やし、より一層の周知に努める。					
6 事業の方向性の判断		1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合			
評価主体	評価	評価についての説明			
(1)一次評価 (担当課長)					
(2)二次評価 (政策推進課長)	2 現状維持	こども家庭センターと連携し、こども及びその保護者への支援を継続して行う。			
(3)最終評価 (町長)					